

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「育てる」から「育つ」へ ～互いのよさを認めあいながら、 「もっと!」を引き出す～	学校名	新座市立新座小学校
		実施日	令和6年1月17日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	時間外勤務時間が昨年より削減しており、教職員も働き方を意識するようになった。全体で集まる会議の回数を大幅に減らしたところがよかった。分掌内での役割分担をより明確にしていきたい。	A	管理職がリーダーシップを発揮し、教職員がやりがいを感じ、メリハリをつけて勤務している様子がわかる。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう、児童が問いをもち、自らの考えを表現するといった児童主体の授業や活動を展開しようとしている。	A	「児童が主体的に行動する授業」を実践するために、教員が講義型授業ではなく、対話を重視した授業を展開するように研究を重た。学習課題を自ら立てるといった学習スタイルを構築し、児童の学習意欲を高めている。	S	児童の興味関心を柱とした授業や異学年の交流授業など多くの取り組みを通して児童の満足度が高くなり、結果が出てきている。
学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。	A	ICTの活用率も高く、教員が使い方を工夫し学習指導を行っている。	A	ICTの環境も整い、1つの道具としてよく活用している。引き続き効果的な活用方法について研究を深めてほしい。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童の一人一人が個の特性を認め合って学校生活をおくることができる環境を整備している。	A	子供の学ぶ姿勢を大切に指導を行っている。児童アンケートからも、一人一人が大切にされていると感じていることがわかる。子供の個性が発揮されるよう学習の場を多様化するため、異学年交流を行った。	A	児童一人ひとりをよく理解し、個を認めている様子がよく分かる。教職員と児童との良好な人間関係がきちんと醸成されている。
学校は、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	A	PTAの協力もいただき、あいさつ運動を行ったり、教職員による立哨指導などを行ったりし、子供が自らあいさつできるような環境を整えた。	A	挨拶できる子が増えてきている。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や休み時間などを通じて、児童が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	今年度は、体育専科による授業を実施し、児童の体力向上に向け、専門的な視点をもち取り組むことができた。持久走記録会に向けた練習や、体力カードなど日々積み重ねができるような取組を実践した。	A	栄養教諭や養護教諭による掲示物やたより等で健康に関する意識も高まっているように思われる。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	A	保護者や地域の方の声に積極的に耳を傾け、その都度対応し、学校全体で取り組んでいる。協力的な地域住民が、校外の安全を守り、校地の整備のために力を貸してくださったりと、地域からのご意見に対応する手助けをしていただき、対応することができた。	A	学校応援団組織がしっかり根付いているため地域に愛される学校になりつつある。